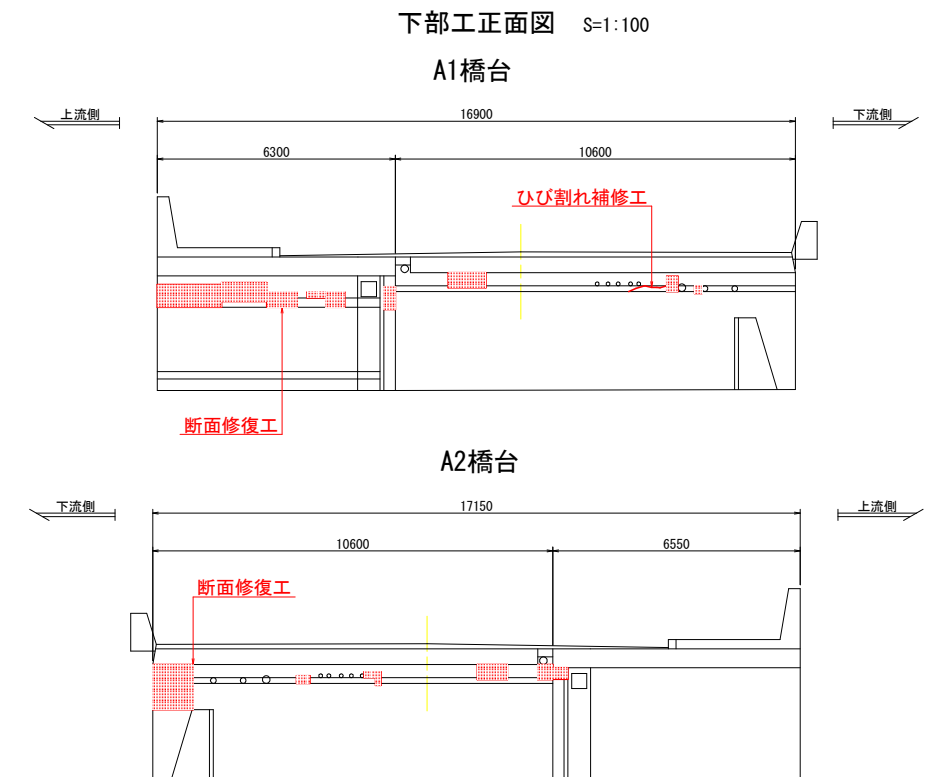
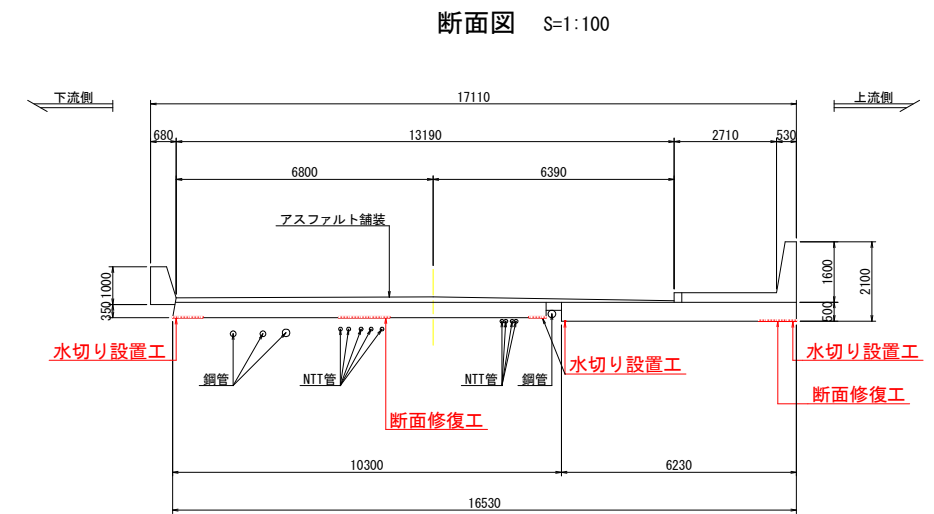
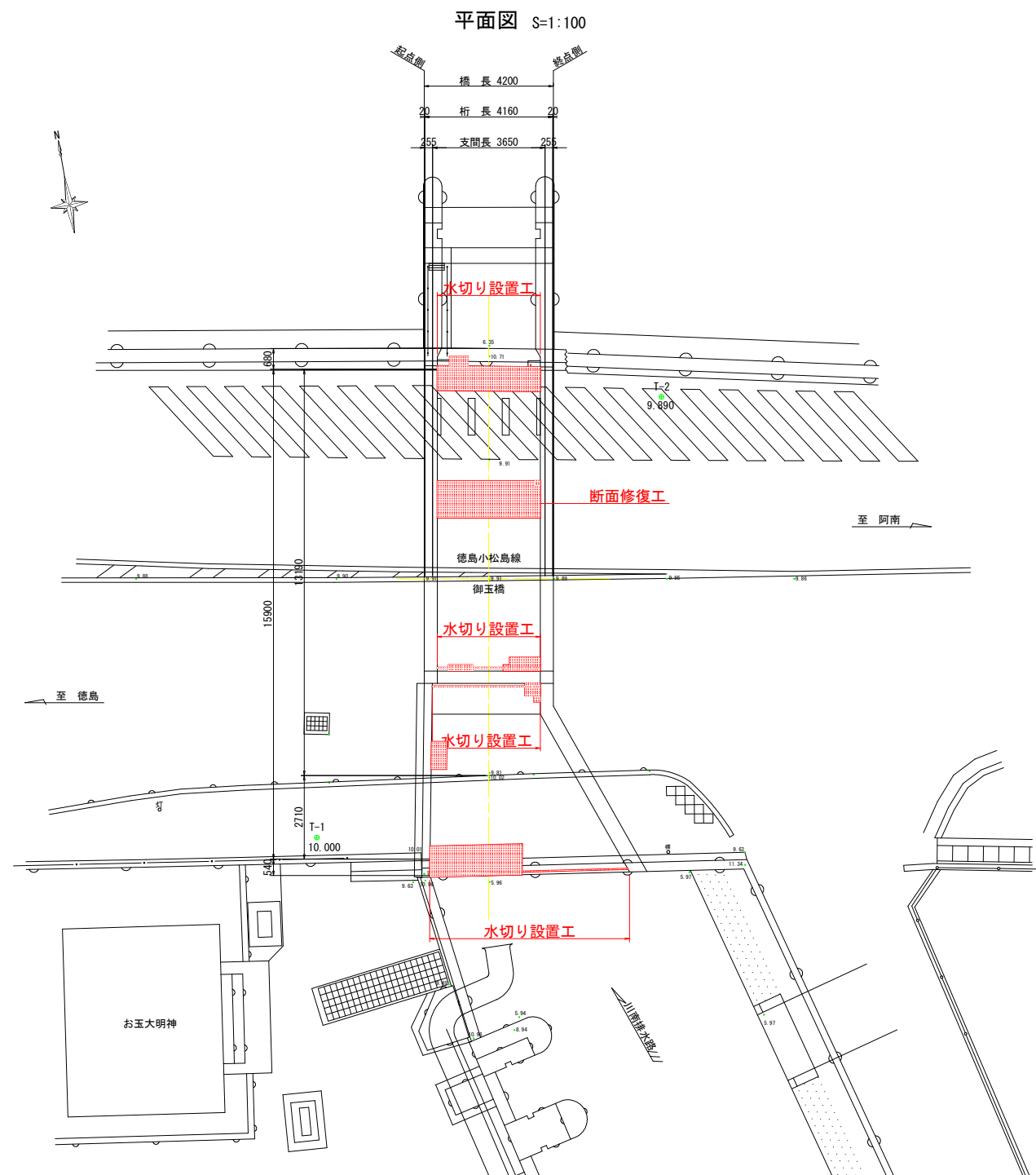
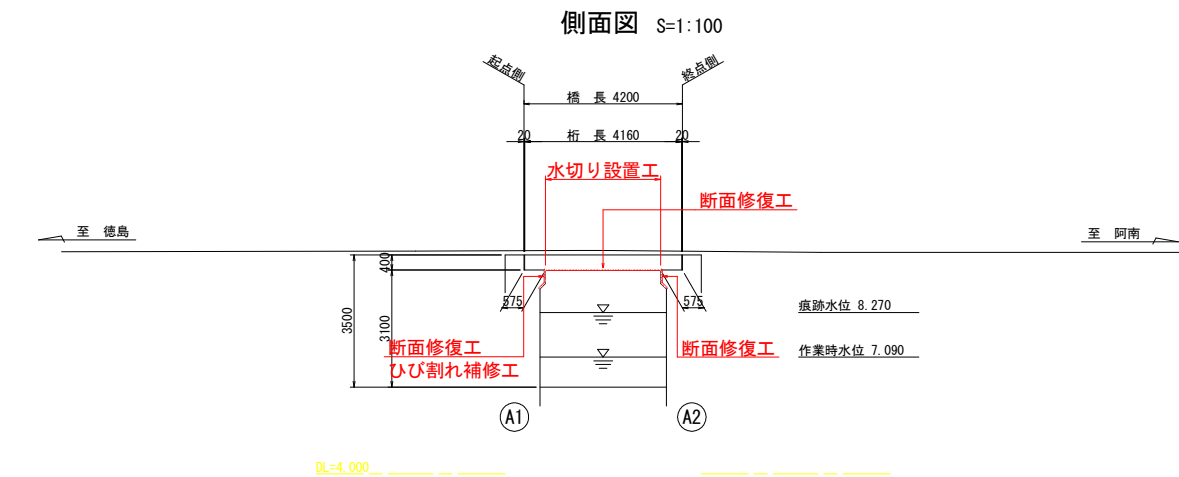


御玉橋 補修計画一般図



御玉橋 補修工事内容一覧

工 種	仕 様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入、ひび割れ充てん工
水切設置工	あと施工型(軟質PVC)

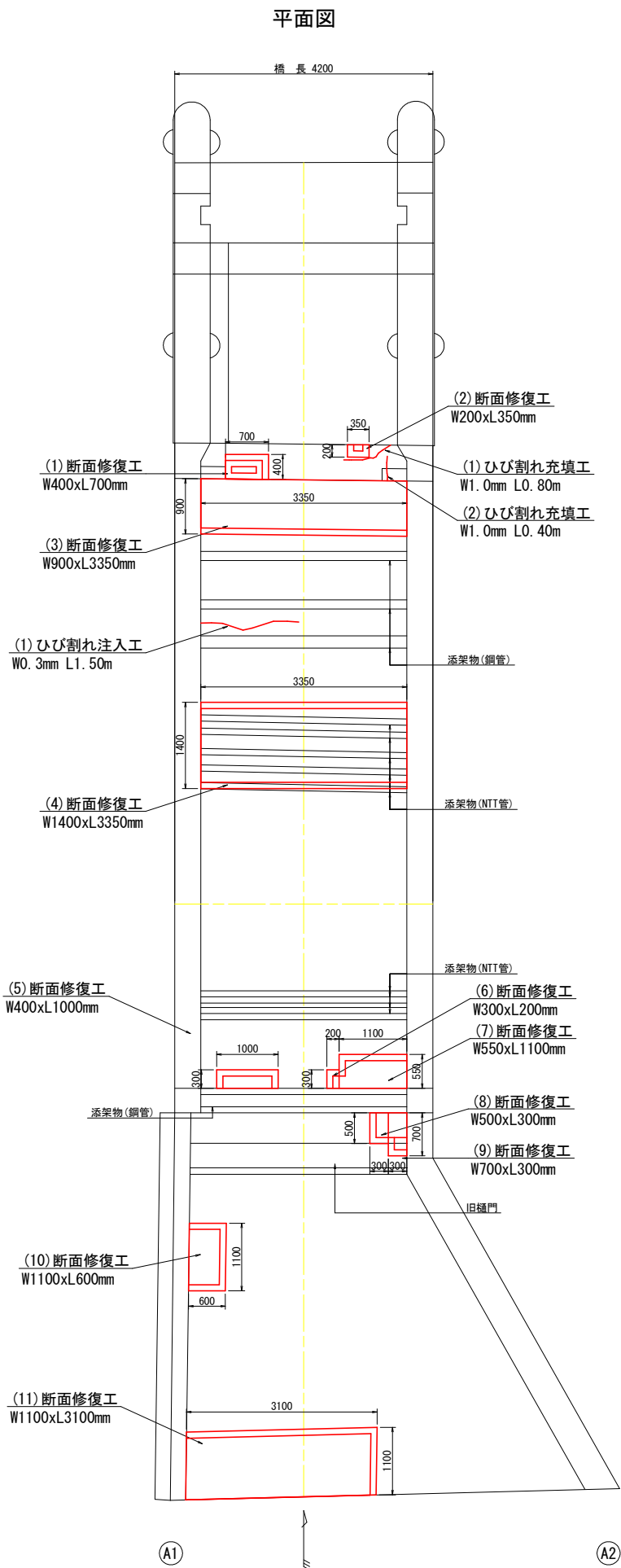
注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

実施設計図面

工 事 名	R 7 徳島 徳島小松島線（御玉橋） 小・南小松島～横須 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島小松島線		
工事箇所	小松島市南小松島町～横須町（御玉橋）		
図 面 名	御玉橋 補修計画一般図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	1 / 4
年 度	令和 7 年度		
事業者名	徳島県東部土塁整備局＜徳島＞		

御玉橋 補修工詳細図(1/3) S=1:50

床版下面 補修図



断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.40	0.70	0.07	0.020	床版01
(2)	0.20	0.35	0.07	0.005	〃
(3)	0.90	3.35	0.07	0.211	〃
(4)	1.40	3.35	0.07	0.328	〃
(5)	0.30	1.00	0.07	0.021	〃
(6)	0.30	0.20	0.07	0.004	〃
(7)	0.55	1.10	0.07	0.042	〃
(8)	0.50	0.30	0.07	0.011	床版02
(9)	0.70	0.30	0.07	0.015	〃
(10)	1.10	0.60	0.07	0.046	〃
(11)	1.10	3.10	0.07	0.239	〃
合計				0.942	

注記)

- 断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 修復厚さは、現橋調査結果より、純かぶり40mm+主鉄筋φ25⇒70mm, 下部工:50mm に設定している。
- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 鉄筋構造物は鉄筋の裏側まではつることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い決定すること。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。
- 添架物周辺を補修する際は、管理者と協議し防護等を施し実施すること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.30	1.50	0.05	0.027	床版01
合計				0.027	

注記)

- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 注入深さは、50mmに設定している。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

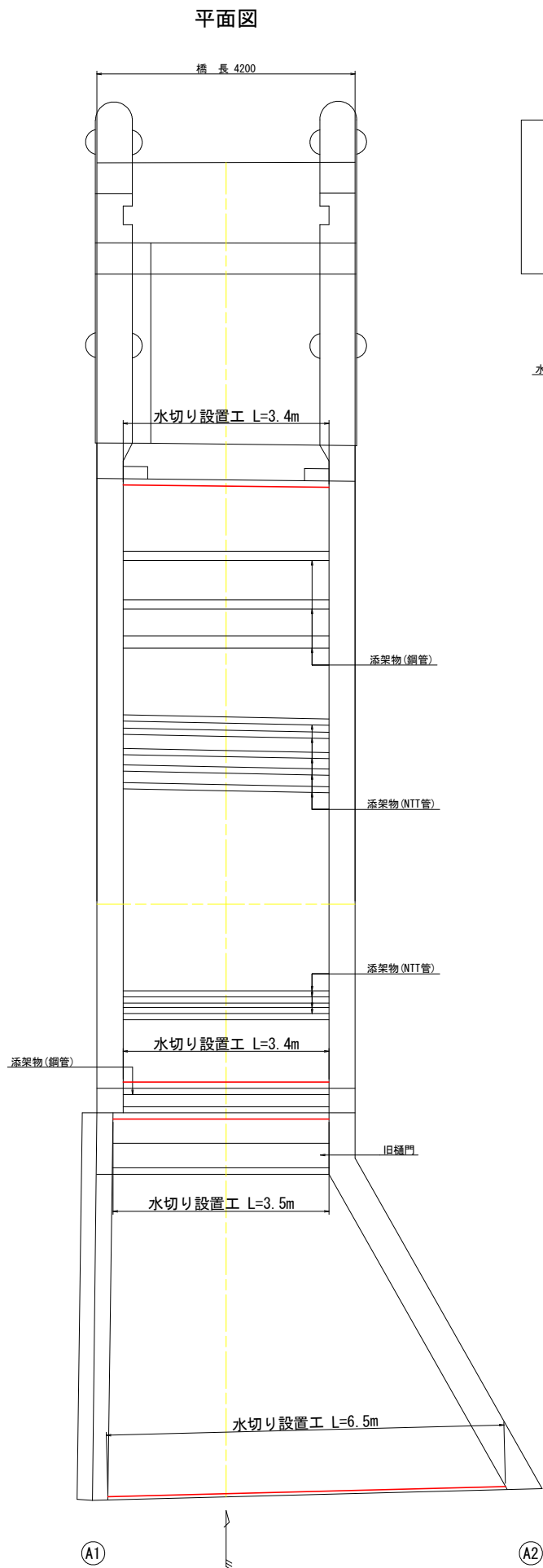
ひび割れ補修工(充てん工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	1.0	0.80	0.120	高欄下面
(2)	1.0	0.40	0.060	〃
合計			0.180	

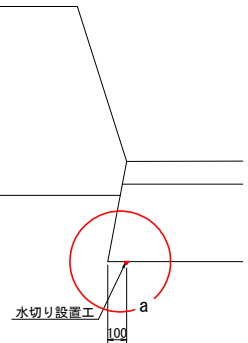
注記)

- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 充填工法の充填材量は、可とう性エポキシ樹脂系充填材を標準としている。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

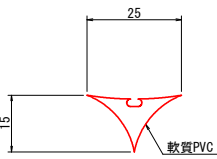
水切り設置工詳細図



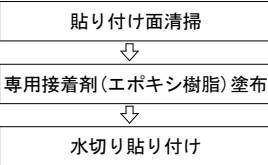
設置位置断面図 S=1:20



水切り詳細図(a部) S=1:1



水切り設置施工フロー



注記)

水切りは上下流共に設置すること。

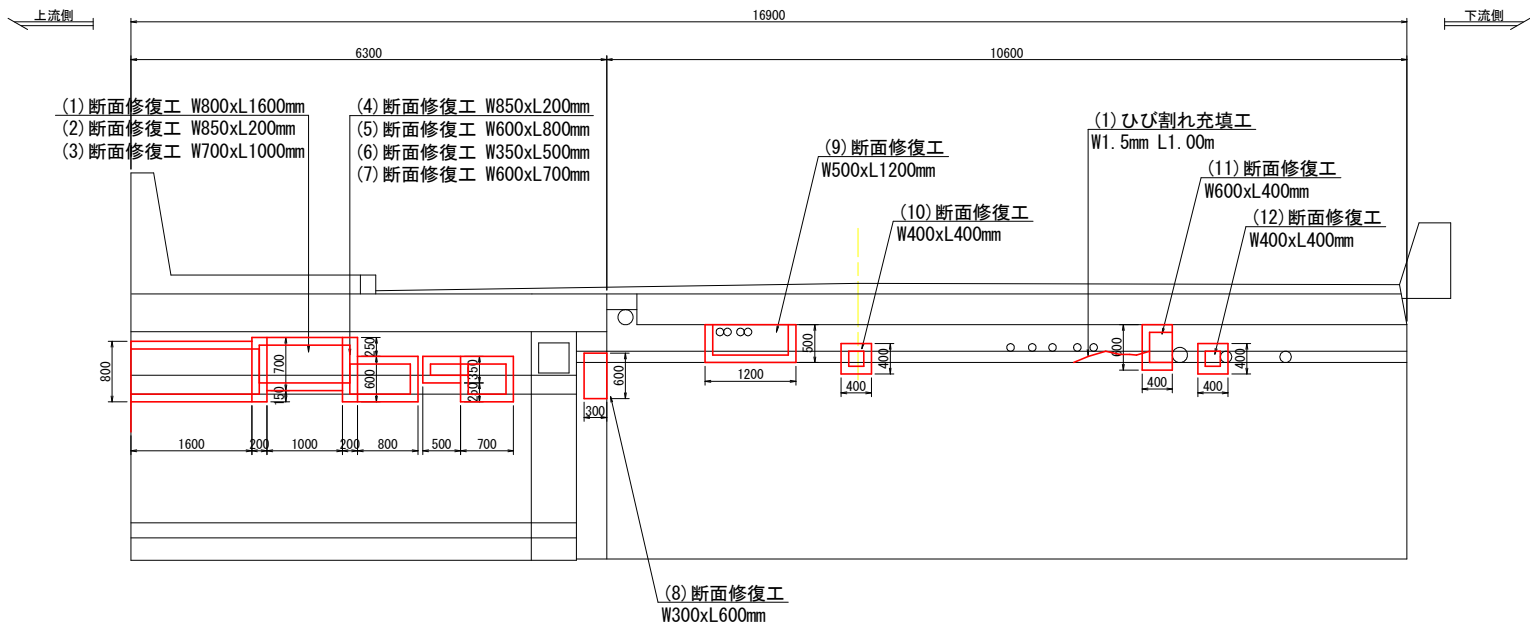
実施設計図面

工 事 名	R7徳土 徳島小松島線(御玉橋) 小・南小松島~横須 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島小松島線		
工事箇所	小松島市南小松島町~横須町(御玉橋)		
図 面 名	御玉橋 補修工詳細図(1/3)		
縮 尺	図示	図面番号	2 / 4
年 度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

御玉橋 補修工詳細図(2/3) S=1:50

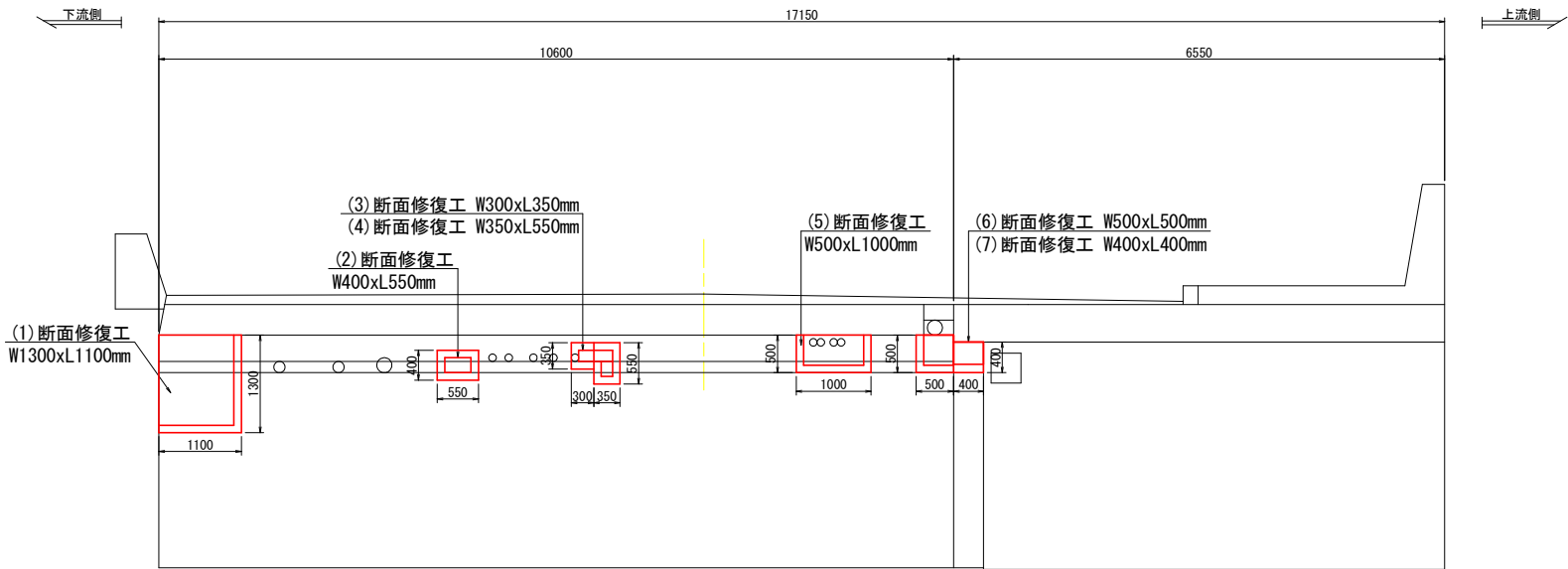
下部工 補修図

A1橋台正面図



断面修復工(左官工法)					
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.80	1.60	0.05	0.064	A1橋台上流側
(2)	0.85	0.20	0.05	0.009	"
(3)	0.70	1.00	0.05	0.035	"
(4)	0.85	0.20	0.05	0.009	"
(5)	0.60	0.80	0.05	0.024	"
(6)	0.35	0.50	0.05	0.009	"
(7)	0.60	0.70	0.05	0.021	"
(8)	0.30	0.60	0.05	0.009	A1橋台下流側
(9)	0.50	1.20	0.05	0.030	"
(10)	0.40	0.40	0.05	0.008	"
(11)	0.60	0.40	0.05	0.012	"
(12)	0.40	0.40	0.05	0.008	"
合計				0.238	

A2橋台正面図



断面修復工(左官工法)					
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	1.30	1.10	0.05	0.072	A2橋台下流側
(2)	0.40	0.55	0.05	0.011	"
(3)	0.30	0.35	0.05	0.005	"
(4)	0.35	0.55	0.05	0.010	"
(5)	0.50	1.00	0.05	0.025	"
(6)	0.50	0.50	0.05	0.013	"
(7)	0.40	0.40	0.05	0.008	"
合計				0.144	

- 注記)
- 断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
 - 修復厚さは、現橋調査結果より、純かぶり40mm+主鉄筋φ25⇒70mm, 下部工:50mm に設定している。
 - 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 - 鉄筋構造物は鉄筋の裏側まではつることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い決定すること。
 - 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。
 - 添架物周辺を補修する際は、管理者と協議し防護等を実施すること。

ひび割れ補修工(充てん工法)				
番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	1.5	1.00	0.150	A1橋台
合計			0.150	

- 注記)
- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 - 充填工法の充填材量は、可とう性エポキシ樹脂系充填材を標準としている。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
 - 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

実施設計図面

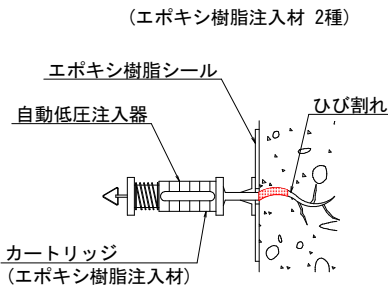
工事名	R7徳土 徳島小松島線(御玉橋) 小・南小松島～横須 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島小松島線		
工事箇所	小松島市南小松島町～横須町(御玉橋)		
図面名	御玉橋 補修工詳細図(2/3)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

御玉橋 補修工詳細図(3/3)

補修要領図

ひび割れ補修工

[低圧注入工法]

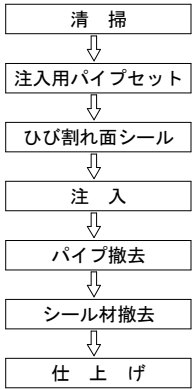


低圧注入器間隔 標準 @300

注入量Vは下式より算出する。
 $V=1200 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.20$

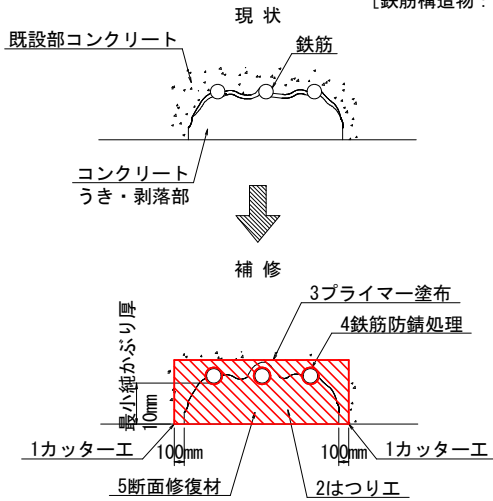
ここに、
V : 注入量
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重
b : ひびわれ幅
h : ひびわれ深さ
L : ひび割れ延長
1.20 : ロス率

施工フロー図



断面修復工

[鉄筋構造物：左官工法]

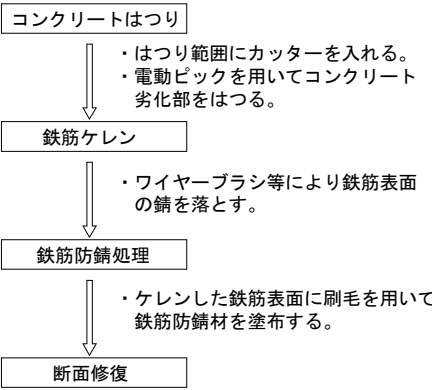


断面修復材量Vは下式より算出する。

$V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$

ここに、
V : 断面修復材量
W : 修復幅
L : 修復長
t : 修復厚
1.18 : ロス率

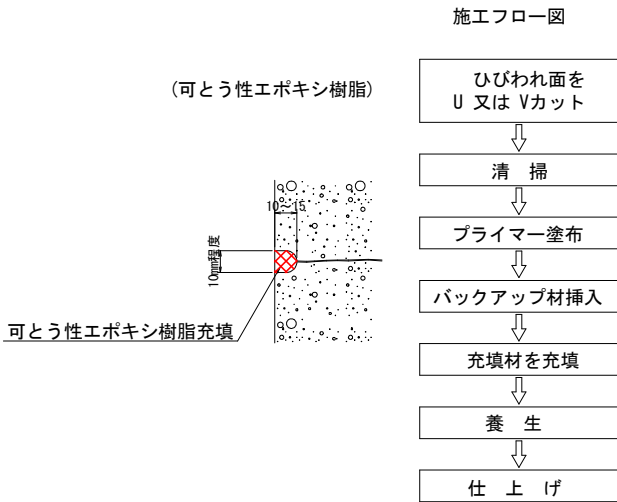
施工フロー図



- 1) 亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20～30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいいため、特に入念に埋め戻す必要がある。
- 4) 断面修復厚さは、各部材で設定している。

ひび割れ補修工

[充てん工法]



注記)
ひびわれ深さが深い場合は、注入工法と併用すること。

充填量は下式より算出する。
 $V=0.010 \cdot 1/2 \cdot (0.010+0.015) \cdot L \cdot 1200 \cdot 1.20$

ここに、
V : 充填量
1200 : 可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重 (kg/m3)
L : ひびわれ延長
1.20 : ロス率

実施設計図面

工 事 名	R7徳土 徳島小松島線（御玉橋） 小・南小松島～横須 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島小松島線		
工事箇所	小松島市南小松島町～横須町（御玉橋）		
図 面 名	御玉橋 補修工詳細図(3/3)		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 4
年 度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞		